

『第1回 施設ケアマネジメント研修』に参加して

報告者：グループホーム島尾の家 津野 典子



令和6年8月27日富山県教育文化会館にて「第1回施設ケアマネジメント研修」が開催されました。令和6年度の介護保険法改正により、高齢者虐待防止委員会の設置が義務付けられ、所属しているグループホームでも年2回の実施を求められていることから、今回の研修にて、どのように実施していけばよいか興味を持ち参加させていただきました。



講師 黒田 正一氏

はじめに講師の富山県介護支援専門員協会副会長 黒田 正一氏より「高齢者虐待防止について」というテーマにて、高齢者虐待防止法の定義やハラスメントについての講義を頂きました。介護現場では安易な身体拘束から高齢者虐待に繋がっていく、「自身の施設は絶対に大丈夫」ではなく、まずは自身の介護を見つめ直すこと、自分のチーム・施設の介護を振り返ってみる事が大切と学びました。



講師 中山 光明氏

次に「施設での委員会運用について」というテーマにて、講師の富山県介護支援専門員協会施設ケアマネジメント委員 中山 光明氏より、身体拘束が起きてしまう原因として職員の教育不足・職場環境・人員不足など事業所側の問題が、かなりのウエイトを占めているとの説明がありました。また、「委員会の人員構成」「不適切ケアがあるときはどんなふうに注意しますか」「ケアマネジャーの役割として」の3つをテーマとして各々の事業所ではどのような対応や対策をしているのかをグループワークで話し合い、施設ごとの取り組み方法に違いがあることが分かり参考になりました。今回の講義内容を持ち帰り、今後活かしていこうと思いました。